【市立病院計画の疑問にお答えします！】

Q1：病院計画は固定資産税の上乗せとセットなの？
A：はい、それに伴う市の財政負担は毎年2億円以上で、市債を含む上乗せを考慮しています。税金の問題は、病院建設の計画が進むに従って、市が負担するものとして、財政の安定に寄与する方策として検討中です。

Q2：病院建設計画が15年間も赤字で大丈夫なのか？
A：この予算は今後15年間の通算で見ると、赤字は避けられないというメッセージですが、それでも必要な予算です。市債の発行によって、必要な資金を調達することが課題です。

Q3：今の病院計画は耐震化されたものですか？
A： Sailor2017年の耐震診断で、耐震化対策が完了し、50年後の耐震性を満たすことが確認されています。この15年間で、耐震性の向上が図られています。

Q4：なぜ現在の施設を新築するのか？
A：駅近区は、高齢化が進む中、交通機関へのアクセス性が求められています。また、新病院は、メンテナンス費の削減、診療の効率化、患者の訪問の利便性が向上するでしょう。

Q5：病院建設の必要性はどの程度あるの？
A：東野区全体での医療需要は、人口増加と高齢化が進行する中で、病院の増設が求められています。地域住民の生活の質を高めるため、新病院の必要性は明らかです。